

平成28年度

建築都市局予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度建築都市局予算総括表及び経営方針・・・・・・・・P 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・P 5

1 平成 28 年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成 28 年度建築都市局予算要求総括表

【一般会計】

平成 28 年度要求総額 30,705,207 千円
 (平成 27 年度予算額 18,537,895 千円)
 前年度比 +65.6%

《主な事業》

(単位：千円)

局 の 柱	事 業 名	平成28年度 予算要求額 A	平成27年度 予算額 B	増 減 A-B
(1)	折尾地区総合整備事業 (連続立体交差・街路事業等)	8,164,000	4,474,600	3,689,400
	【参考】(折尾土地区画整理事業)	1,088,100	772,500	315,600
	(土地取得特別会計)	814,000	703,999	110,001
	一般会計 + 特別会計の合計	10,066,100	5,951,099	4,115,001
	スタジアム整備事業	10,109,000	159,300	9,949,700
	小倉駅南口東地区市街地再開発事業	940,000	1,195,560	▲ 255,560
(2)	環境首都総合交通戦略の推進	325,554	347,106	▲ 21,552
(3)	城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業	464,032	1,560,180	▲ 1,096,148
	住宅街区のスマート化促進事業	55,000	50,300	4,700
	住まい向上リフォーム促進事業	200,000	200,000	0
(4)	① 住むなら北九州 移住推進事業	70,000	27,200	42,800
	② 老朽空き家等除却促進事業	100,000	75,000	25,000
(5)	公共施設マネジメント推進事業	21,464	17,000	4,464
	③ 公共施設予防保全マネジメント推進事業	31,085	0	31,085
	都市計画マスタープラン推進事業	13,500	13,400	100
(6)	民間建築物耐震改修費等補助事業	106,000	106,000	0
	市営住宅耐震改修事業	1,011,017	910,260	100,757

※局の柱番号の内容については4頁に記載

【北九州市土地区画整理特別会計】

平成 28 年度要求総額 1, 562, 000千円
(平成 27 年度予算額 1, 243, 000千円)
前年度比 +25. 7%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成 28 年度 予算要求額 A	平成 27 年度 予算額 B	増減 A-B
折尾土地区画整理事業	1,088,100	772,500	315,600

【北九州市土地区画整理事業清算特別会計】

平成 28 年度要求総額 1, 100千円
(平成 27 年度予算額 1, 100千円)
前年度比 0%

【北九州市住宅新築資金等貸付特別会計】

平成 28 年度要求総額 32, 000千円
(平成 27 年度予算額 42, 000千円)
前年度比 ▲23. 8%

【北九州市土地取得特別会計】

平成 28 年度要求総額 823, 300千円
(平成 27 年度予算額 703, 999千円)
前年度比 +16. 9%

【北九州市駐車場特別会計】

平成 28 年度要求総額 407, 000千円
(平成 27 年度予算額 396, 000千円)
前年度比 +2. 8%

【北九州市学術研究都市土地区画整理特別会計】

平成 28 年度要求総額 3, 1 2 1, 0 0 0 千円
 (平成 27 年度予算額 3, 5 4 9, 0 0 0 千円)
 前年度比 ▲ 1 2. 1 %

(単位：千円)

事業名	平成 28 年度 予算要求額 A	平成 27 年度 予算額 B	増減 A-B
北九州学術・研究都市北部 土地区画整理事業	385, 181	2, 181, 700	▲1, 796, 519
地方債償還	2, 600, 987	1, 236, 170	1, 364, 817

(2) 平成 28 年度建築都市局経営方針

建築都市局においては、「元気発進！北九州」プランの基本方針に加えて、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた政策を積極的に推進し、「活力のあるまち」、「環境にやさしいまち」、「暮らしやすい安全なまち」を実現します。

I 活力のあるまち

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

- ・折尾地区や北九州学術研究都市北部などの基盤整備や、良質な市街地住宅の供給を促進します。
- ・平成 29 年 3 月の供用開始に向けて、スタジアム整備を進めていきます。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

- ・環境首都総合交通戦略の推進に取り組み、環境首都にふさわしい交通ネットワークの実現をめざします。

II 環境にやさしいまち

(3) 地域からの低炭素社会への取り組み

- ・城野ゼロ・カーボン先進街区を形成するとともに、既存住宅のエコ化やバリアフリー化などに対する助成を行い、良質な住宅・建築ストックの形成を図ります。

III 暮らしやすい安全なまち

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

- ・老朽空き家等の対策や市外からの移住支援の強化などに取り組みます。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

- ・公共施設マネジメントを着実に推進するとともに、コンパクトシティ形成のための立地適正化計画を踏まえた北九州市都市計画マスタープランの改定を行います。

(6) 安全で安心できるまちづくり

- ・災害に強いまちづくりを推進するため、民間建築物耐震改修費等補助などを行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

① 生活支援拠点の充実

V-1・継続

・折尾地区総合整備事業 10,066,100 千円

折尾駅周辺連続立体交差事業・街路事業等 8,164,000 千円

折尾土地区画整理事業 1,088,100 千円

土地取得特別会計 814,000 千円

鹿児島本線の仮線切替（平成 29 年 1 月）に向けて鉄道高架工事に加えて短絡線の仮ホームや軌道の整備、電力通信等の付帯工事を行います。また、筑豊本線の鉄道高架工事を引き続き行うとともに、駅周辺の道路改築工事や堀川町地区の宅地整備工事、東側地区の家屋移転補償などを行います。

② 都心・副都心の活性化

Ⅲ-2・継続

・スタジアム整備事業 10,109,000 千円

都心部に人が集い、賑わいあふれる北九州市の創出を目指し、平成 28 年度も引き続きスタジアム整備を進め、年度末に供用開始します。

V-1・継続

・小倉駅新幹線口賑わい施設整備事業
(横断歩道橋) 194,730 千円

小倉駅新幹線口地区における賑わい創出のため、タコマ通りを横断する広幅員の横断歩道橋をスタジアムの供用開始に合わせて整備します。

V-1・継続

・小倉駅南口東地区市街地再開発事業 940,000 千円

小倉駅小倉城口にふさわしい都市機能の集積と土地の高度利用を図るため、市街地再開発事業の施行者に対して、再開発事業における施設建築物工事費等について一部を補助するほか、公共施設整備に係る費用を負担します。

③ 戦略的拠点の機能強化

V-1、VI-4・継続

・北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業 385,181 千円

平成 28 年度は、区画線や照明灯の設置及び換地処分に必要な測量や換地計画作成業務等を行います。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

① 利便性の高い交通ネットワークづくり

V-2・継続

・環境首都総合交通戦略の推進

325,554 千円

コンパクトシティ形成のための「立地適正化計画」と連携して、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの再構築を図りながら、公共交通の利用促進に向けた取り組みを実施します。

また、主要な公共交通軸と乗継拠点の整備強化によって、分かりやすく利便性の高い公共交通を目指すとともに、おでかけ交通への支援や、地域毎の特性に合った交通システムの導入に向けた取り組みなど、市民の足の確保と持続可能な公共交通の実現を図ります。

(3) 地域からの低炭素社会への取り組み

① 低炭素社会を実現するストック型社会への転換

V-1、VI-2・継続

・城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業

464,032 千円

平成 28 年度末の城野駅北土地区画整理事業の完了に向け、道路整備や電線類地中化を行うとともに、換地処分を行います。

V-1、VI-2・継続

・住宅街区のスマート化促進事業

55,000 千円

城野地区においてタウンマネジメントを推進するとともに、低炭素に寄与する取組みに対し助成を行います。

○エネルギーマネジメントシステムの構築に対する補助金 1/3 以内

○ゼロ・カーボン住宅整備に対する補助金 戸建住宅 40 万円、集合住宅 20 万円

IV-2、VI-2
継続

・住まい向上リフォーム促進事業

200,000 千円

良質な住宅ストックの形成と活用を地元活力により促進するため、既存住宅において、エコや子育て・高齢化への対応、安全・安心に資するリフォーム工事に対し、その費用の一部を補助します。

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

① 彩のあるまちづくり

Ⅲ-1・新規

・住むなら北九州 移住推進事業 70,000 千円

本市への移住を強かに推進するため、これまでの「北九州市定住促進支援事業」と「住むなら北九州 子育て・転入応援事業」を一本化し、転入者にわかりやすく、幅広いニーズに対応できる支援制度を創設します。

市外から移住する世帯に対し、住宅を取得する費用や街なかの住宅を賃借する費用の一部を補助します。

Ⅲ-1・拡充

・老朽空き家等除却促進事業 100,000 千円
(うち拡充分 15,000 千円)

安全で安心な居住環境を形成するため、一定基準を満たす老朽空き家等について、除却費の一部を補助します。平成 28 年度は補助件数の拡大を図ります。

Ⅲ-1・拡充

・市営住宅駐車場整備事業 39,675 千円
(うち拡充分 3,975 千円)

駐車場が不足している市営住宅の駐車場を計画的に整備し、団地内の不法駐車者の解消を図ります。また、介護ヘルパーや親族等が一時駐車するための来客用駐車場の整備を行い、入居者や団地訪問者の利便性とサービスの向上を図ります。

② うるおいのある空間づくり

Ⅲ-1・継続

・市民との協働による景観づくり 13,250 千円

景観資源の発見・活用や、地域主体の景観づくりの取り組みを積極的に支援するとともに、景観意識の向上や担い手育成に取り組めます。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

① 都市基盤・施設の整備と維持管理

V-3・継続

・公共施設マネジメント推進事業 21,464 千円

公共施設マネジメントの取り組みを推進するため、引き続き、市民理解の促進を図る取り組みを行います。また、モデルプロジェクト地域の事業化に向けた計画策定、事業手法等の検討を行います。

V-3・新規

・ 公共施設予防保全マネジメント推進事業

31,085 千円

これまでの施設の調査データ（仕様、劣化状況）や調書（改修時期、概算費用）等をもとに、市有建築物の長寿命化計画を策定します。

平成 28 年度は、施設機能を維持するための主要な設備について、維持保全と保安に必要な基礎データを収集し、予防保全型の維持管理を進めます。

② 既存ストックの活用

V-3・継続

・ 都市計画マスタープラン推進事業

13,500 千円

本市の都市をとりまく社会情勢の変化、コンパクトシティ形成のための「立地適正化計画」の策定等を踏まえ、街なかを含む市域全体の一体的かつ効率的なまちづくりを進めるため、北九州市都市計画マスタープランの改定を行います。

(6) 安全で安心できるまちづくり

① 災害に強いまちづくり

Ⅱ-1・継続

・ 民間建築物耐震改修費等補助事業

106,000 千円

民間建築物の耐震化を促進するため、一定の要件に該当する木造住宅やマンション、多数の市民が利用する特定建築物の耐震化に要する費用の一部を補助します。

Ⅱ-1、V-3・継続

・ 市営住宅耐震改修事業

1,011,017 千円

耐震改修の必要な市営住宅について、耐震改修工事を行います。平成 28 年度は 711 戸（20 棟）の工事を行います。